

① 目標と向上心を持って成長につなげよう

成長は、日々の小さな積み重ねから生まれます。

常に向上心を持ち、自分自身の成長を意識して行動することが大切です。

そのためには、「目標」を持つことが欠かせません。

目標があるからこそ、自分の進むべき方向が明確になり、成長への意欲が生まれます。

ライバルは他人ではなく、自分自身。

昨日の自分よりも一歩前へ進むことを意識し、日々の努力を重ねましょう。

②喜ばれる人になろう

仕事のやりがいは、自分のためだけでなく、誰かに喜ばれることでより強く感じられます。

次の工程の人のことを考えて仕事をすれば、お互いに気持ちよく、スムーズに作業が進みます。

また、お客様のことを意識してものづくりに取り組むことで、より良いものを生み出せます。

人は、自分のためだけでなく、誰かのために頑張ることにより大きな力を発揮できるものです。

「自分の仕事が誰かの役に立っている」という実感が、さらなるやる気につながります。

人の喜びを自分の喜びとし、周りに良い影響を与えられる存在を目指しましょう。

③社会のニーズを追い、応えよう

ものづくりをする上で、社会のニーズに応え続ける姿勢が欠かせません。時代の変化やお客様のニーズに目を向け、必要とされるものを見逃さないことが重要になります。

ただ作るだけではなく、「今、何が求められているのか？」と考え続ける姿勢が大切です。

そして、変化に恐れず、時代の流れに適応する力も欠かせません。

技術や市場の変化に敏感になり、柔軟に対応することで、求められるものを作り続けることができます。

時代に合わせて進化し、より良いものづくりを追求していきましょう。

④心身整えて仕事を充実させよう

良い仕事をするためには、仕事の成果だけでなくプロセスが重要となります。

自分の時間や家庭とのバランスを含め、日々の暮らし全体を整えることが、仕事のパフォーマンスを高めることにつながります。

ここでいう「自分の時間」とは、趣味や仲間との交流など、自分自身をリフレッシュさせる時間のことです。

「家庭」は、家族との関係や暮らしそのものです。

どちらも大切な要素であり、その在り方やバランスは人によって異なります。

仕事・家庭・自分の時間の3つが無理なく循環し、どれも偏りなく保たれている状態こそが、長く気持ちよく働き続けるための土台になります。

まずは、自分自身の状態を整えて仕事に臨みましょう。